

愛知東邦大学 シラバス

開講年度 (Year)	2024年度	開講期 (Semester)	後期
授業科目名 (Course name)	日本史		
担当者 (Instructors)	小久保 嘉紀	配当年次 (Dividend year)	1
単位数 (Credits)	2	必修・選択 (Required / selection)	選択

■ 授業の目的と概要 (Course purpose/outline)			
「新しい日本史」 日本史学の近年の研究成果を元に、現在どのような新たな発見や通説の見直しがあるのか、各時代ごとに概説する。その中でもとくに、東海地域に関する歴史に着目する。			

■ 授業形態・授業の方法 (Class form)	
授業形態 (Class form)	講義
授業の方法 (Class method)	講義形式で行う。成績評価は、中間レポート・期末試験（持込不可）により行う。授業中の私語・スマホ・電子機器（ノートPC・タブレットなど）・音楽などは減点とする。なお、座席指定の授業とする（座席間違いは欠席になるので、注意すること）。

■ 各回のテーマとその内容 (Each theme and its contents)			
回数 (Num)	テーマ (Theme)	内容 (Contents)	メディア区分 (Media)
第1回	オリエンテーション	授業の開始に当たり、授業の目的や内容、また今後の予定について説明する。それと併せて、受講に際しての諸注意や成績評価の基準についても説明する。	<input type="checkbox"/>
第2回	古代社会と日本神話	日本神話を通して、古代の人々の生活や思想について講義する。とくに、古代の結婚・未熟児のあり方について考える。	<input type="checkbox"/>
第3回	縄文・弥生時代—縄文・弥生人のルーツ—	縄文・弥生人の身体や生活に注目することで、それらのルーツについて講義する。また、邪馬台国の場所をめぐる議論についても考える。	<input type="checkbox"/>
第4回	古墳時代—ヤマト朝廷と「桃太郎」—	古墳時代のヤマト朝廷と吉備の関係について、昔話「桃太郎」の分析を通して講義する。また、前方後円墳の形の意味などについても考える。	<input type="checkbox"/>
第5回	飛鳥時代—「日本」・「天皇」の成立—	飛鳥時代の東アジアをめぐる国際情勢の中で、なぜ「日本」・「天皇」といった名称が成立したのかについて講義する。また、「聖徳太子不在説」についても考える。	<input type="checkbox"/>
第6回	奈良時代—社会不安と奈良の大仏—	奈良の大仏が造られた背景としての、奈良時代の社会不安について講義する。また、奈良時代に仏教はどのような存在だったのかについても考える。	<input type="checkbox"/>
第7回	平安時代—藤原氏と貴族社会—	なぜ、藤原氏が権力を握ることができたのかについて講義する。そして、藤原道長の「望月の歌」を通して、道長が置かれていた状況について考える。	<input type="checkbox"/>
第8回	鎌倉時代—鎌倉幕府の成立と元寇—	武士の登場や源平の争乱、鎌倉幕府の成立について講義する。鎌倉幕府の成立年をめぐる議論や、北条氏が幕府の実権を握るに至った背景について考える。また、日本と元が衝突に至った背景についても考える。	<input type="checkbox"/>
第9回	南北朝・室町時代—内乱の背景と影響—	南北朝時代の内乱や、室町時代の応仁・文明の乱、明応の政変の背景について講義する。また、これら南北朝・室町時代の内乱が社会に及ぼした影響についても考える。	<input type="checkbox"/>
第10回	戦国時代—戦国大名と下剋上—	どのようにして戦国大名が成立したのかについて講義する。また、下剋上の実態についても考える。そして、鉄砲・キリスト教の伝来を素材として、戦国時代の日本と世界の関係について再考する。	<input type="checkbox"/>
第11回	織田・豊臣政権—信長・秀吉の国家像—	信長・秀吉が目指した国家像について講義する。具体的には、信長の印判・花押や安土城、秀吉の聚楽第や朝鮮出兵などを通して考える。	<input type="checkbox"/>

第12回	江戸時代—平和の到来と幕府政治—	江戸時代になり、平和が到来したことで武士はどのように変化したのかについて講義する。また、生類憐みの令の背景についても考える。	<input type="checkbox"/>
第13回	明治・大正時代—文明開化と大正デモクラシー—	近代日本の現実について、童謡を通して考える。また、夏目漱石による文明開化への批判や、大正デモクラシーに関する疑問点についても考える。	<input type="checkbox"/>
第14回	戦前・戦時中の社会—戦争と軍国主義—	どのようにして日本が太平洋戦争へと向かったのかについて講義する。また、「ごん狐」などを通して、当時の社会の様相についても考える。	<input type="checkbox"/>
第15回	現代社会とメディア	現代メディアの推移を通して、戦後社会がどのように移り変わっていったのかについて講義する。具体的には、「鉄腕アトム」・「サザエさん」・「ポケモン」などを扱う。	<input type="checkbox"/>

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

事前学習：前回の授業を見直し、復習を行う（1時間）。次回の授業に備え、予習を行う（1時間）。事後学習：今回の授業を見直し、復習を行う（1時間）。中間レポートの作成や期末試験の対策を行う（1時間）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

中間レポートは評価の上、返却する。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019全学共通DP1	物事の歴史的背景を読み取る力を身につけることができる。また、とくに東海地域の歴史の理解を深めることができる。そして、授業を通して学んだことを、各自の専門分野に生かすことができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
70%				30%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

中間レポート

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN (ISBN)
1	無し。	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN (ISBN)
1	『日本古代史』全6巻（岩波新書、2010・2011年）	
2	『日本中世史』全4巻（岩波新書、2016年）	
3	『日本近世史』全5巻（岩波新書、2015年）	
4	『日本近現代史』全10巻（岩波新書、2006～2010年）	
5		